

# 片瀬のぞみだより

日本基督教団片瀬教会付属

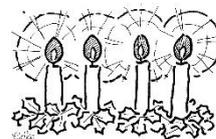
片瀬のぞみ幼稚園

2024年12月号

家庭通信 2024 No.18



心をきれいにして、うれしいお知らせを



段々と？いや急に秋を飛び越え寒い日を迎えた11月中旬、感謝祭礼拝・パーティーを行い、神さまから頂いためぐみ、おつくりになった神さまへの感謝を覚える機会が与えられました。持ち寄った食べもので豚汁やデザートを美味しくいただきました、ご協力ありがとうございました。自分たちが持ち寄ったものがテーブルに並べられることがとても嬉しそうな子どもたちの表情が印象的でした。

さて、このたよりが皆さまに届いている頃にはアドベント1本目（アドベントについては11月園だよりにて）を迎え、イエスさまのお誕生をお祝いするクリスマスへと歩みを進み始めています。25・26・27日とクリスマスのお話の時を持ち、イエスさまのお誕生の様子をお知らせしました。「あっ、これページントのおはなしだ。」と幼稚園での3度目のクリスマスを迎える子ども、♪かわいいひつじ、メエメエ、ひつじの歌で「ひつじさんのうただ。」と2度目の子どもたち、そして、「はて？」と首をかしげながらお話をきく初めての子どもたちと三者三様のクリスマスが始まりました。まずはマリアさんがイエスさまをお迎えできるような心の準備を整える様に、私たちも心をきれいに・・・ふっと、お部屋を見回すと感謝祭パーティーの時の飾り付けがある賑やかな状態。「このままでいいのかな？」との問いに「おへやをきれいにするー。」との声があがり、みんなでお部屋をきれいにお掃除しました。たまご・ひよこさんも自分たちのお椅子をピカピカに拭きました。これからアドベントクランツに火を灯しながら、アドベントカレンダーを見ながら、少しずつクリスマスへと進んでいきます。きらびやかでサンタさんがよい子にプレゼントを届けるうれしいクリスマスが大好きな子どもたちです。けれども、片瀬のぞみ幼稚園では、もうひとつ大切なクリスマスも覚えます。それは、**私たちのために生まれてきてくれたイエスさまの誕生日“クリスマス”**ということ。まだ、お嫁にいつてないマリアのお腹の中にイエスさまは宿りました、ヨセフの隣りで婚約者マリアは自分と結婚する前にお腹を大きくしていきます、世の中はローマ帝国の支配の中で貧困や争い、差別で混沌としていました。各々が不安な中、それでも「心をきれいにして（迎えられるように整えて）」イエスさまのお誕生を待ち望んだのです。私たちも生活していく上で、様々な事柄に心を悩ませてしまうものです。だからこそ、心にイエスさまをお迎えする部屋を空け、きれいにして待ち望むクリスマスにしていきたいと思えます。そのことを子どもたちに一から十まで言葉として伝えることは難しいですが、まずは私たちからこの思いを抱いてクリスマスへと向かい、子どもたちへと伝わっていかれたらと思えます。

なによりも片瀬のぞみ幼稚園の子どもたちは、お祈りや礼拝、お食事やお帰り・・・神さまに心を向ける前に「おこころをしずかにしましょう。」をして整えることができます。

きっとわたしたちよりずっとやさしくイエスさまをお迎えするのでしょうか。子どもたちと共に喜びをもってクリスマスを迎えましょう。

園長 横山流